

【概要】

住宅ローン利用者の実態調査

【住宅ローン利用者調査(2021年4月調査)】

I 調査の概要

2020年10月～2021年3月に住宅ローン（フラット35を含む。）の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

（参考）調査実施時期：2021年4月26日～5月5日、回答数：1,500件

II 調査結果の主なポイント

〈〉は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 利用した金利タイプでは、「変動型」が増加し、「固定期間選択型」と「全期間固定型」は減少 〈p. 2〉

- ・「変動型」：68.1%（2020年11月調査^(※) 62.9%）
- ・「固定期間選択型」：20.7%（同 24.5%）
- ・「全期間固定型」：11.2%（同 12.6%）

2 今後1年間の住宅ローン金利見通しについて、「ほとんど変わらない」が引き続き6割を超えたが、その一方で、「現状よりも低下する」は減少し、「現状よりも上昇する」、「見当がつかない」が増加 〈p. 10〉

〈今後1年間の住宅ローン金利見通しについて（全体）〉

- ・「現状よりも上昇する」：20.4%（2020年11月調査^(※) 18.1%）
- ・「ほとんど変わらない」：65.0%（同 66.1%）
- ・「現状よりも低下する」：3.5%（同 7.3%）
- ・「見当がつかない」：11.1%（同 8.4%）

3 住宅ローンを選んだ理由は、フラット35以外の住宅ローン利用者では「金利が低い」、フラット35利用者は「返済額を確定しておきたかった」が最多 〈p. 13、p. 14〉

〈住宅ローンを選んだ理由について〉

- ・フラット35以外の住宅ローン利用者：「金利が低い」が71.8%で最多
- ・フラット35利用者：「返済額を確定しておきたかった」が49.5%で最多
次いで「金利が低い」が41.6%

（※）2020年4月～9月に住宅ローン（フラット35を含む。）の借入れをされた方が対象